

こちら校長室

こころ
心

令和5年度



令和6年 1月 5日

京都市立修学院小学校

校長 鎌田 賢二

TEL : 075-781-4439

目を輝かせ 今を大切に生きる子

～しなやかに 夢中に 安心安全に～

令和6年の修学院教育が始まります

新年の挨拶を前に1月1日に「令和6年能登半島地震」で被災された方々が一日も早く元の生活になりますようお祈りいたします。私事ですが、友人が被災地の近くに住んでいることもあり、恐る恐る連絡をとりました。大きな被害がなかったとは言え、近隣では断水や停電が続き、物置や家が一部壊れるなどの被害があったようです。私自身も阪神淡路大震災での被災の経験があり、電気は復旧しましたが、しばらくガスは止まり、断水になりました。山へ水を汲みにいき、お風呂もたまたま水が復旧したご家庭で2週間ぶりにお世話になったことを思い出します。あの時の日常ではあり得なかった生活がふっとよみがえり、何とも言えない気持ちになりました。修学院小学校に通う子どもたちのご家族のご実家や親戚の方等ご関係の方や被災地の方へ行かれて支援活動をされている方もいらっしゃるかと思います。どうかご無事でありますように。スクリーンでも配信いたしました。配慮が必要な状況等がございましたら学校へ遠慮なくご相談ください。

被災地からは離れているとは言え、京都市もかなり揺れました。日常のこの生活が「当たり前ではないな」と改めて思います。地震やそれに関連する事故についてSNSやニュースで見たり聞いたりするので、受け止めることは常にしておりますが、自分にできることはそう多くはなく…今の自分には何ができるのかを考えますと、やはり教育で子どもたちを笑顔にしたり、喜び合ったりしながら元気に過ごすことが大切だと思い描いたり、3学期を前に身が引き締まる思いです。元気であることはとても大事なことで、今後の色々な動きにも十分に対応できる準備になるのではないかと考えます。子どもたちにも日々過ごす学校生活で先生や友達と過ごすことが決して当たり前と思うことなく、生きていることや共に学習できることに感謝して、人に優しくできるように進んでほしいです。そのためのきっかけづくりをどんどんしていきたいと思えます。また、改めて地震が起こったときに何を大切にしなければならぬかを今一度考え、家庭や地域で話題にしておくことも必要です。もちろん学校でも阪神淡路大震災の起こったこの時期に改めて避難訓練を行い、安全に関することや命を大切にするための行動や助け合い・協力について学びます。

新年の挨拶の前にといいながら、色々なことが思い起こされました。令和6年がこのような形で始まりましたが、3学期、子どもたちは次のステップへの大事な時期となります。今年子どもたちの成長の祈願となりますよう新年の挨拶をさせていただきます。明けましておめでとうございます。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

2024年、目を輝かせて今を大切に生きるために何をしますか？